

## 大会ブリテン 第2号

2025 年 8 月 2 日発行

### 盛大に開会

～第31回アジア太平洋地域大会開幕～

8月1日(金)13時、第31回アジア太平洋地域大会の開会式が、期待と喜びに満ちた中で執り行われました。大西一史熊本市長の祝辞に続いて、エリア旗や各区のバナー等が入場し、大会の幕開けを華やかに飾りました。



続いて、田上正アジア太平洋地域会長による開会宣言と

点鐘で、会場は、大きな拍手に包まれました。

田上会長がホストコミッティー委員長を兼ねて、本大会への意気込みと感謝の言葉を、歓迎の辞をデビッド・ルア地域大会委



員長が述べ、国内外から集まった参加者をあたたかく迎えました。ナン・ブー・ウォン アジア・太平洋 YMCA 同盟総主事から祝辞が述べられ、平和と友情をテーマにした本大会への期待が語られました。

開会式は、終始和やかな空気に包まれ、多様な文化と絆が交わる特別なひとときとなりました。

### 開会を彩った 伝統の舞と太鼓の響き

開会式に先立ち、熊本を代表する2つの伝統芸能が披露され、会場を魅了しました。

最初に登場したのは、熊本県立鹿本農業高校郷土芸能伝承部による「山鹿灯籠踊り」。繊細な和紙で作ら



れた金灯籠を頭に載せ、静かな旋律に合わせてゆ

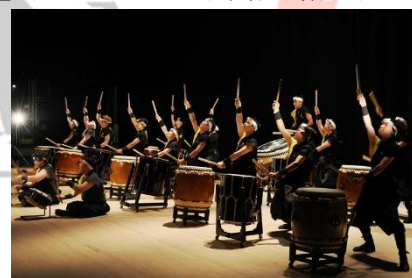
ったりと舞う姿は幻想的で、参加者から大きな拍手が送られました。



続いて「大津太鼓清流会」が力強い太鼓演奏を披露。若いメン

バーが中心となり、迫力あるリズムで会場に熱気を生み出しました。

特に全国大会で何度も受賞している高見大志さんの打ち込みは圧巻で、会場全体に太鼓の力強い響きが広がりました。



両方のパフォーマンスは、熊本の文化と誇りを感じることができた貴重な時間となりました。

## 国際会長就任式

～新国際会長 就任式で決意を語る～

2025/26 年度の新たな国際会長の就任式が藤井寛敏元国際会長の司式で執り行われました。エドワード・オン新国際会長(シンガポール)が就任スピーチを行い、これからの活動への熱い思いを語りました。



エドワードは、アジア太平洋地域等各地から集まったメンバーを前に、日本語を一部交え、文化や言語を超えて築かれる絆の大切さに触れ、集う喜びを分かち合いました。多様性の豊かさ、共通の目的に向かって共に進む団結の力を強調し、この大会が新たな友情と学びの出会いの場となることへの期待を述べました。



また、国境を越えた信頼と尊重に基づくつながりをさらに深めていくことの重要性にも言及し、新会長としての任務に臨むにあたり、「Faith (信念)、Love (愛)、Action (行動)」を主題とし、これらの価値が私たちの活動や成長を支える柱になると呼びかけました。

最後に、スローガンである「Together Stronger」(共に、より強く)を挙げ、一人ではなく互いに支え合いながら、謙虚さと思いやりを持って歩む決意を力強く表明しました。

会場は大きな拍手に包まれ、参加者一同が新たなリーダーのもとで未来への一步を踏み出す思いを新たにしました。

## アジア太平洋地域会長就任式

～結束と敬意に包まれた就任式～

国際会長の就任式に続いて、田上 正新アジア太平洋地域会長(熊本むさし)の就任式が行われました。司式は、就任したばかりのエドワード・オン国際会長でした。



厳粛に就任の宣誓が行わ

れた後、田上会長は、就任スピーチの中で、地域の



の多様性や長年にわたる活動の歩みに触れながら、会長としてこれからのアジア太平洋地域の活動を支えるために

大切にしていきたい考えや、クラブ同士のつながりの意義について述べました。

これまでの支えに対する感謝と今後の協力への期待が穏やかな言葉で表され、参加者は、真剣に耳を傾けていました。

就任式は、終始落ち着いた空気に包まれ、終了の際にはあたたかな拍手が送られました。



就任式を通じて、地域の結束や互いを支え合う心が改めて感じられるひとときとなりました。

## 基調講演

### ワイズによるラオスでの YMCA 設立

大野嘉宏・在京都ラオス名誉領事(京都パレスクラブメンバー。元西日本区理事)による、大野さんが中心となって進めて来られてきた、ラオスに YMCA を設立する取り組みについての基調講演が行われました。



#### <講演の概要>

ラオスは、東南アジアで唯一 YMCA が存在しない国です。歴史的背景やキリスト教への偏見などから長年設立は困難とされてきました。しかし大野さんは、観光立国を目指すラオスに、教育で貢献するため東京 YMCA 国際ホテル専門学校の分校設立を提案しました。ラオスから京都市動物園への象寄贈などで築いたラオスとの信頼関係がこの計画の基盤となりました。



京都パレスクラブ創立 50 周年を機に 1,000 万円の寄付を募り、さらに、「ラオスに YMCA を有志の会」を立ち上げ、全国のクラブに支援を呼びかけた行動も特筆に値します。

西村隆夫元国際書記長と小畑貴裕東京 YMCA ホテル専門学校校長も現地に赴き、政府と協議を行っています。



## IBC 締結式

基調講演に続いて、熊本ジェーンズクラブと台湾の台北ユニオンクラブとの IBC(国際兄弟クラブ)の締結式が行われました。

大勢の聴衆が見守る中、両クラブの会長によって IBC 締結証明書の



署名が行われ、満場の拍手で祝福されました。両クラブの皆さん、おめでとうございます！

## アジア太平洋地域の活動を振り返る

アジア太平洋地域の昨年度の活動を振り返る報告



がジョウン・ウォン直前アジア太平洋地域会から行われました。この1年の成果や各区の取り組みが紹介され、参加者は、熱心に

耳を傾けていました。

## ショートビデオコンテスト

### 結果発表及び表彰式

アジア太平洋地域ショートビデオコンテストの表彰が行われ、日本の甲府 21 クラブがコミュニティ部門で、台湾

BTRA クラブが自由制作部門で優勝しました。本コンテストは「Make A Great Impact」をテーマに、若者やクラブの創造力・地域貢献の映像を募集したものです。



## サプライズゲストに大歓声

会場をホテル日航熊本に移し、晩餐会(直前地域会長ナイト)が開催されました。始めに晩餐会会場を沸かせたのは、予告されていなかったサプライズゲストの登場でした。



熊本県の人気キャラクター「くまモン」が元気に現れると、参加者から

大きな拍手と歓声が上がりました。

愛らしい姿に海外からの来場者も笑顔を見せ、記念撮影を楽しむ様子が見られました。

続いて、熊本県知事代理が歓迎の言葉を述べ、心のこもったメッセージに会場は、和やかな雰囲気に包まれました。

この特別なひとときは、熊本らしいおもてなしを感じる時間となりました。

## 晩餐会にて

いよいよ楽しい食事です。開会の祈り、ジョウン直前アジア太平洋地域会長の歓迎の辞、田口 努日本YMCA 同盟総主事の挨拶が行われました。アジア太平洋地域の元会長たち、各理事、直前理事が壇上に並んで乾杯の後には、バランタイン賞(V・S・



バシール元国際会長が受賞)、国際会長特別表彰(ジョウン直前アジア太平洋地域会長が受賞)、RBM ゴルフ大会の表彰等が行われました。

大会晩餐会恒例のカルチャーナイトでは、アジア太平洋地域の各区、各国から多彩なパフォーマンスが披露されました。民族衣装に身を包んだ参加者もあり、出演者がステージに立つたびに、大きな拍手が送られました。



名残は尽きませんが、閉会のお祈り、マーシャルからの連絡事項で、初日のプログラムを終えました。

## 火の国まつり おてもやん総踊り

熊本の夏を彩る「火の国まつり」は、毎年8月に開催される市民の祭典です。中でも最大の見どころは、熊本を代表する民謡「おてもやん」に合わせて数千人が踊り歩く「おてもやん総踊り」。色とりどりの浴衣や法被をまとった踊り手たちが、軽快な手拍子と笑顔で街を埋め尽くし、会場は一体感に包まれます。熊本地震後も、この祭りは地域の希望と再生



の象徴として続けられており、「元気を分かち合おう」という想いが込められています。ぜひ、この活気あふれる踊りを間近で体感いただき、熊本の人々の温かさと底力を実家してみてください。明日の晩餐会では皆で踊るかも。